

渡辺 優子 (平政・公明党)

病児病後保育の拡充

病児の子供を一時的に預かる「病児保育」。働く母親の増加に伴って需要が高まっている。現在小学校3年生までを対象にしている。年齢の引き上げを含め事業の拡充をすべき。

国では対象者を6年生までに拡大し、保育所等において体調が悪くなった子供を実施施設まで送迎するための補助制度を追加することとしている。子育てしやすい環境づくりのために重要な事業であるため、国の制度を活用した対象者の拡大や、保育所等からの送迎の実施について、今後、実施施設と協議していきたい。

投票率向上への取り組み

今夏の参議院選挙から18歳以上の投票となる。本市の20代の投票率は最も低い。新有権者への啓発と周知が必要と考える。またスーパーなどの期日前投票所の設置を考へるべき。

主権者教育は高校の授業等で行われており、市選挙管理委員会ではそれらを補完するため、引き続き出前講座を実施していく。また、選挙の際には「広報のしろ選挙号外」により、投票を棄権しないよう呼びかけることとしている。今年の参議院議員通常選挙から、市内商業施設1カ所に期日前投票所を増設する準備を進めている。

その他の質問事項

- 聴覚障がい者支援
○国土強靱化地域計画の策定

落合 康友 (議会改革を推進する諸派の会)

子育て環境く放課後児童クラブ整備

子育て環境に地域間格差が生じるのであれば行政は解消する責務がある。学童保育未整備校は市内に6校あり保護者から設置要望の声が高まっているが、今後の市の考え方は。

未整備校では放課後子ども教室推進事業として実施している図書室開放等を利用しており、夏休みなどの長期休業期間は既存の児童クラブで未設置学区の児童の一部を受け入れている。放課後の児童の居場所の確保は必要と考えるので、今後、既存の児童クラブの活用等を含めて、検討したいと考えている。

河畔公園整備の市民参画によりデザイン

一昨年市民との合意形成の欠如が要因で発展した大型複合遊具署名運動。アンケート調査をもとにした画一的整備ではなく、市民参画による未整備部分の公園デザインを提案する。

今回行ったアンケート調査により市民が望んでいる施設については調査済みであるため、現時点では、ワークショップの開催は考えていない。調査ではトイレやブランコ等の設置要望があることからそれらを整備し、できれば、市民が参加できる植栽スペース等を設置するなど、市民の癒やしの空間がでないか検討したい。

その他の質問事項

- 有機・特別栽培普及に対する意識
○市とイオンの密室的交渉を公開せよ
○学童保育スクールバス送迎

小林 秀彦 (日本共産党)

脳ドック検診への助成

脳疾患の有無を調べる検査として脳ドックが有効だが、高額な費用がかかる。脳疾患の予防と早期発見、早期治療を促進するために脳ドック検診への助成を。

市では、食習慣の改善、運動習慣の普及、禁煙等の生活習慣改善のための対策に取り組んでいる。脳ドックについては検診費用が高額であることから実施に当たっては多額の経費を要するが、脳疾患を早期に発見するためには有効な検査であるので、引き続き検討したいと考えている。

空き家対策

人口減少が進み、空き家の増加は避けられない。そのため空き家の倒壊の危険性があり、周辺への悪影響を及ぼす場合、解体費用の補助なども検討すべきでは。

空き家を適切に管理している所有者との公平性の問題や、個人の財産に対し公費を投入することの是非、財源確保等の課題があり、現時点では補助制度については考えていないが、継続的に実態調査を行い、解体に向けた効果的な対策について検討していきたいと考えている。

その他の質問事項

- 定期監査報告書
○イオン出店
○公契約条例